



福は内
鬼は外

図書館だより 2月

ワシントン日本語学校図書館 (tosh@wils.org)
開館時間 8時50分～4時

令和8年 2月号

2月に入り、節分や立春を過ぎて、暦の上では少しずつ春が近づいてきました。これからは「三寒四温」を繰り返しながら、季節はゆっくりと春へと歩みを進めていきます。ふとした瞬間に、日の長さや光の明るさに春の兆しを感じますが、外はまだまた冷たい風が吹いています。そんな時はあたたかい図書館で、好きな本を見つけて、ゆっくりと流れる冬の終わりの時間を楽しんでみませんか。

図書館では本の貸出が2月28日(土)でおわり、その後からは年に1度行う「蔵書点検」がはじまります。「蔵書点検」とは図書館の本について、なくなっている本はないか、やぶれて修理が必要な本はないか、古くなり読めなくなった本はないかなど、1冊1冊手にとって調べる作業でとても時間がかかります。しばらく図書館の利用ができなくなりご迷惑をおかけしますが、ご協力お願いいたします。

最終貸出日：2月28日

返却日：3月 7日12時まで

最終貸出日と
返却日
蔵書点検の
ご案内

- 3月7日から蔵書点検を行います。
- ①全ての本の返却を **3月7日12時まで** をお願いいたします。
→全部返却されなければ、点検がはじめられません！
 - ②蔵書点検期間中は、図書館の利用はできません。
→本が移動すると、どこまで作業したかわからなくなります。
ご協力どうぞよろしくお願いいたします。



人気シリーズ貸出のご案内

「サバイバル/タイムワープ」「発明/実験対決」「漫画」「どっちが強い!?」「最強王」については、生徒1人につき1冊までの貸出とさせていただきます。放課後に棚に本が残っている場合は、保護者の方にも貸出いたします。多くの生徒に読んでもらえるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

私物図書をお預りしています

図書館では間違って返却された個人の本、他の図書館で借りられた本をお預かりしています。お心当たりのある方は、職員に声をおかけください。

★図書館で1ヶ月保存し、お問い合わせがない場合は寄贈扱いとさせていただきます。

1月人気ランキング

文庫

- 1 天久鷹央の事件カルテ / 知念実希人
- 2 コンビニ兄弟/町田そのこ
テンダネス門司港かね村店
- 未来/湊かなえ

児童書シリーズ

- 1 にじいろフェアリー
しずくちゃん
- 2 じごく小学校
おしりダンディザ・ヤング
- 3 54字の物語
時間割男子

1月の貸出状況

貸出利用者	
生徒	602人
保護者	319人
貸出冊数	2,487冊



2月22日は「ねこの日」です。これは猫の日実行委員会が「ニャンニャンニャン」とよめることから1987年に制定されました。ちなみに海外にも猫の日はあるようで、ヨーロッパの多くは2月17日、アメリカは10月29日に定められているようです。図書館にはたくさんの猫の本があります。ぜひ手に取ってみてください。

2月21日に
猫の本を借りた人には
「ねこのしおり」を
プレゼント!

2/21
限定

『ぴのちゃんとさむさむねこ』

松丘コウ (BL出版)



さむぞらのなか、みちでうずくまっているねこにであつたぴのちゃん。ねこは、けがわがやけてさむくてうごけなくなってしまったという。ぴのちゃんは、ねこをあたためてあげようと…。第35回日産 童話と絵本のグランプリ、絵本大賞受賞作品。(対象年齢：4歳から)

『くつやのねこ』いまいあやの (BL出版)



あるところに、貧しいくつやが、ねこといっしょに暮らしていました。くつやは、とてもうでのよい職人でしたが、お客はさっぱりきません。途方にくれるくつやに、ねこはいいました。「よい考えがあります。わたしに、いちばんよい革で長ぐつをつくってください」さて、ねこはどうするつもりなのでしょう。古典「長靴をはいた猫」を、新しくアレンジした作品です。(対象年齢：5歳から)

『せかいいちのねこ』

ヒグチユウコ (白泉社)



「なんてやさしいねこなんだろう。ぼくもあんなやさしいねこになりたい。」男の子にえいえんにあいされるために、本もののねこになりたいとねがうぬいぐるみのニャンコと、たびさきで出あうさまざまなねこたちとの心あたたまる絵ものがたり。ねこたちのやさしさにふれて、せいちょうしていくニャンコ。本とうのしあわせとは? (対象年齢：6歳から)

『私はネコが嫌いだ。』よこただいすけ (つちや書店)



「お父さん、このネコ飼ってもいい?」全身真っ黒で縁起の悪いネコが、突然、わが家の一員に。トイレは覚えなし、仕事の邪魔をする、腹が減れば夜中でも騒ぐ。私はネコが嫌いだ。15年間、そう言い続けてきたのに…。大切な家族と一緒に過ごした時間は忘れられない。感動で胸がいっぱいになる短編映画のような絵本。(対象年齢：10歳から)

世にもふしぎなSCPガチャ! (1) かわいい猫にご用心 にかいとう青 (講談社)



SCP財団とは異常存在(オブジェクト)から人々を守る秘密の組織。職員クオリアはオブジェクトのフィギュアを出す「SCPガチャ」をさがしている。ガチャは願いを叶えてくれるようにみせかけて、実は人びとを危険な目に合わせるのである。擬餌猫、シンボル、彫刻-オリジナルなど、さまざまなオブジェクトが引き起こす、不可解で奇妙で不気味な物語。

『にやははな毎日 銭天堂の招き猫たち (銭天堂番外編)』 廣嶋玲子 (偕成社)



「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」シリーズで大人気、招き猫たちの本ができました。招き猫名鑑や読み物、4コマまんがなど、これ1冊で、招き猫たちの魅力にせまれます!(対象年齢：10歳から)

『猫のお告げは樹の下で』 青山美智子 (宝島社文庫)



ふと立ち寄った神社で出会った、お尻に星のマークがついた猫-ミクジの葉っぱの「お告げ」が導く、7つのやさしい物語。失恋した相手を忘れた美容師、中学生の娘と仲良くなりたいたい父親、なりたいたいものが分からない就活生、夢を諦めるべきか迷う主婦…。なんでもない言葉が「お告げ」だと気づいたとき、思い悩む人たちの世界はガラッと変わっていく。あなたの心もあたたかくなる連作短編集。

『猫と罰』 宇津木健太郎 (新潮社)



「猫に九生あり」という。かつて漱石と暮らした黒猫もまた、幾度となく生と死を繰り返し、ついに最後の命を授かった。過去世での悲惨な記憶から、孤独に生きる道を選んだ黒猫だったが、ある日、自称「魔女」が営む猫まみれの古書店「北斗堂」へ迷い込む。文豪の猫と創作の業が絡まり合う、日本ファンタジーノベル大賞受賞作。